

【春のイベント案内】

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

| 日程 | 内容 |
|-------------|------------------------|
| 4月28日(土) | 弥生のお菓子づくり、編布コースターづくり |
| 4月29日(日・祝) | コースターづくり、鹿角アクセサリーづくり |
| 4月30日(月・祭日) | 花カルタで植物はかせはなるう、原始の玉づくり |
| 5月3日(木・祝) | 土器・ハニワづくり、はつくつ体験 |
| 5月4日(金・祝) | ノルディックウオーグ、貝輪アクセサリーづくり |
| 5月5日(土・祝) | ミニチュア墳丘墓づくり、組ひもづくり |

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
 ☎0859-37-4000 ☎0859-37-4001
 ※各イベントとも午前10時～午後3時

生活を実践・体感

考古学や遺跡・古代の文化に興味のある女性を対象にした体験プログラム「むきばんだ女子考古部」19人の部員が話し合い、弥生時代の古代食づくりや遺跡巡りなどを自ら計画して実施し、発信します。

2月の活動は第2回「マイ貫頭衣(かんづき)づくり」。事前に各自が準備した貫頭衣を、クリのイガや玉ネギの皮の煮汁で染色したり、土器の押し型を模したスタンプで装飾し



土器や銅鏝(くわ)を用いた文様をスタンプで装飾



貫頭衣に加えて巾着やハンカチも染色

むきばんだ女子考古部

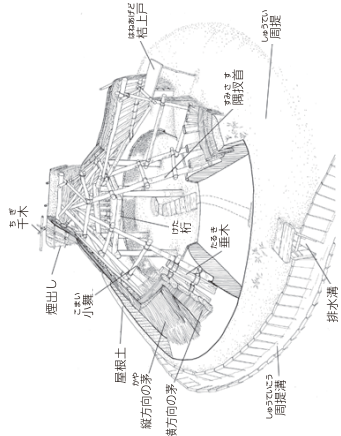
布がきれいに染まることに驚いた。弥生人もこのような服を着ていたのかもしれないと想像するとおもしろい」と話します。

貫頭衣づくりの参加部員で最年少の石川(いしかわ)潮(うしほ)苗(なほ)さんは「昨年は竪穴住居でのご飯作りが楽しかった。今年も参加して、勾玉やアクセサリーを作りたい」とやる気十分。弥生時代の生活を試行錯誤しながら体験することで関心も一層深まります。今年度の女子考古部は4月7日から募集を開始。妻木晩田遺跡の新たな楽しみ方が今後さらに広がりそうです。

※布の中央に穴を開け、その穴に頭を通すタイプの衣服。古代では広く着崩されていた。

「よみがえる弥生の国邑」 国史跡 妻木晩田遺跡

弥生時代中期から古墳時代前期にかけての集落跡。国内最大級、約170ヘクタールの広さがあり、約450棟の竪穴住居跡や37基の墳墓などが見つかった。公園内では復元された弥生時代の村の姿を見ることができ、ガイドによる解説や弥生体験も可能。



竪穴住居図解



むきばんだ史跡公園内の復元住居



発掘された竪穴住居跡

ボランティアスタッフ募集中

むきばんだ史跡公園では、来園者と一緒に遺跡内を歩いて解説したり、弥生体験を補助したりするボランティアスタッフを募集しています。詳しくはお問い合わせください。

国史跡公園
 ☎0859-37-4000 ☎0859-37-4001
 ✉mukibanda@pref.tottori.lg.jp

触れて、楽しんで

妻木晩田遺跡は大山山系に連なる丘陵上に広がる弥生時代の村の跡。敷地の中に約450棟の竪穴住居跡が見つかっており、かつて栄えた村の姿を現代に伝えます。

県は平成11年の国史跡指定を機に遺跡内に竪穴住居や高床倉庫、墳丘墓などを復元整備。一帯



ジュニアアファンクラブでの土器づくり

を「むきばんだ史跡公園」として公開するとともに、気軽に遺跡や弥生時代の文化に触れることができるガイド施設「弥生の館 むきばんだ」で土器づくり体験や弥生時代のアクセサリーづくりなどを提供しています。

さらに、子どもたちが弥生時代の暮らしを追体験する「ジュニアアファンクラブ」、考古学好きの女性のための「女子考古部」などさまざまな形で活用。貴重な遺跡を知ってもらうだけでなく、多くの人に楽しんでもらうことで魅力を伝えます。

国史跡文化協議

☎08557-267934
 ☎08557-268128
 ✉kyouikubunka@pref.tottori.lg.jp